



令和7年度第 1 回 埼玉県社会教育委員会議

1. 教育局の主な社会教育事業について

令和 7 年度 生涯学習推進課 生涯学習・社会教育担当事業の計画

(令和7年8月現在)

1 会議等

事業名等	事業の概要	計画等
埼玉県社会教育委員会	社会教育に関し教育委員会に助言するため社会教育委員により行われる会議や計画立案	年 3 回
埼玉県生涯学習審議会	教育委員会又は知事の諮問に応じ、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する会議	年 2 回

2 人づくりを支える体制

事業名等	事業の概要	計画等
県立学校等公開講座	県民に多様な学習機会を提供するため、主に長期休業中（夏季・冬季）に学校の特色や教員の特技等を活かした講座を県立学校等で実施	・ 夏季： 開設期間 7 月～9 月 ・ 冬季： 開設期間 12 月～1 月
県立学校学習・文化施設地域開放事業	県民の主体的な学習活動への支援、地域に開かれた学校づくりの実現、県有施設の有効活用を目的として、県立学校の学習・文化施設（音楽ホール、図書館など）を土・日曜日を中心に開放	①春日部高校 音楽ホール等 ②川越高校 図書館 ③熊谷高校 図書館 ④本庄高校 図書館 ⑤上尾かしの木特別支援学校 どんぐりホール等
生涯学習情報発信事業 （生涯学習ステーション）	県民の学習活動を支援するため、生涯学習情報サイト「埼玉県生涯学習ステーション」を通して、生涯学習に関する情報を提供	・ 指導者情報、イベント情報の募集及び随時更新 ・ 各種講座情報、文化施設開放情報の提供
デジタルデバイドの解消	誰もがデジタル化の恩恵を享受できるように、デジタルデバイス解消に向けた学びを推進	・ デジタルデバイス解消に向けた事業の事例紹介
リカレント教育の推進	生涯を通じて新たな知識・技能を学び、身に付けられるように、学習機会の提供や関連情報の発信を推進	・ リカレント教育の推進に向けた事業の事例紹介

3 つながりづくりを支える体制

事業名等	事業の概要	計画等
市町村社会教育関係委員・職員研修	社会教育における関係者の資質向上を図るため、県内4ブロック5会場で社会教育委員や関係職員等を対象とした地区別研修を開催	南部、入間、比企、北部、東部

4 地域づくりを支える体制

事業名等	事業の概要	計画等
社会教育主事の養成	社会教育主事講習へ教員及び行政職員等を推薦し、社会教育主事を養成	A 講習： 7/11(金)～8/28(木) B 講習： 1/16(金)～2/19(木)

5 調査等

事業名等	事業の概要	計画等
各種調査	社会教育統計調査 ・5/1現在の社会教育推進体制や施設の状況、前年度社会教育事業実施状況について調査	7月～ ※取りまとめ後、県HPに掲載
	成人式調査 ・11/1現在の新成人数、成人式の形態（運営組織等）について	11月～11月下旬 ※取りまとめ後、12月下旬に県HPに掲載
	埼玉県生涯学習推進指針に関する取組状況調査 ・各部局における学習機会の状況を調査し、体系化を図る。	5月～7月
	県政サポーターアンケート	11月予定

6 青少年教育関係

事業名等	事業の概要	計画等
彩の国21世紀郷土かるた県大会	市町村代表の子供たちが参加する「彩の国21世紀郷土かるた」の競技会を開き、郷土への理解と郷土愛の高揚を図るとともに、仲間づくりを促進	令和8年3月8日(日) 県立武道館

7 社会教育施設関係

事業名等	事業の概要	計画等
優良公民館表彰	優れた取組を実践している公民館を推薦	6月～7月末 3館（上限）推薦

8 その他

事業名等	事業の概要	計画等
共催・後援	団体等の活動支援のため、後援や共催の承認	随時受付
県政出前講座	埼玉県の生涯学習の推進及び社会教育に関する施策について情報提供	随時受付
社会教育関係団体運営費補助	全県的な活動を行っている社会教育関係団体に対し、運営に必要な経費の一部を補助し団体の育成を図る。 ①埼玉県公民館連絡協議会 ②埼玉県地域婦人会連合会 ③埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会 ④日本ボーイスカウト埼玉県連盟 ⑤（一社）埼玉県子ども会連合会 ⑥（一社）ガールスカウト埼玉県連盟 ⑦埼玉県鼓笛・金管バンド連盟	4月：実績報告受領会 9月～：交付申請受付、交付決定 3月：実績報告依頼
障害者の生涯学習支援活動に係る文科大臣表彰	障害者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う個人や団体について、その活動内容が他の模範と認められるものに対し、各種表彰に推薦	6月～7月25日 ※政令市は別枠

家庭教育支援の推進について

生涯学習推進課

社会教育・家庭教育支援担当

1 趣 旨

家庭の教育力の向上を図るため、中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」及び親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」を推進するとともに、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援を行う。

さらに、子供の学習意欲の向上や家庭における学習習慣の定着を図るため、「埼玉県家庭学習支援プログラム集」を活用した講座を行い、家庭の教育力の向上を図る。

2 埼玉県家庭教育アドバイザーの活用について

保護者対象

- ・親が親として育ち、力をつけるための学習として、ワークショップ型の講座を行います。
- ・講座の中で、少人数（4～6名程度）グループを作り、子育てについて楽しく語り合ったり、家庭教育アドバイザーから子育てのワンポイントアドバイスをもらったりします。
- ・保護者会や家庭教育学級など、様々な場面でご活用いただけます。



中高生対象

- ・親になるための学習として、中高生対象の「親の学習プログラム集」の講座を行ったり「赤ちゃんふれあい体験」や「妊婦体験」などの指導補助を行ったりします。

【想定される埼玉県家庭教育アドバイザーの活用場面】

＜保護者対象の「親の学習」＞

- ・就学時健康診断時の保護者待機の時間
- ・入学説明会
- ・入園説明会
- ・家庭教育学級
- ・学級懇談会
- ・学年懇談会
- ・PTA役員研修会
- ・学校保健委員会
- ・子育て講座 等



＜中高生対象の「親の学習」＞

- ・各学校の授業の一環として実施
(教員と家庭教育アドバイザーが連携して実施)

1 目的

学校・家庭・地域が一体となって取り組む「地域学校協働活動」の普及・啓発を図り、社会総掛かりで子供たちの学びや成長を支える活動を推進。

2 「地域学校協働活動」とは

【定義】

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

「社会に開かれた教育課程」の実現が求められている

- 多様な地域人材や団体等が横のつながりをもって活動に参画。
- 幅広い地域人材や団体等が参画することで、多様な活動が想定。
- 学校と地域の連携・協働体制の構築。

【具体的な活動例】

○学校応援団推進事業

学校・家庭・地域が一体となって子供の育成に取り組むことで、学校の活性化を図るとともに、家庭や地域の教育力の向上を目指す。

- 教育活動を支援する組織
- 組織的・継続的な活動を目指すため、学校と「学校応援団」との間 に立って調整を行う「学校応援コーディネーター」を配置。

○放課後子供教室推進事業

子供たちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に小学校の施設等を活用し、地域の多様な人材の参画を得て、学習や体験等のプログラムを企画・実施する取組を支援する。

- 地域の方々の参画を得て、全ての子供を対象として行う、多様な活動。

3 県の取組

地域学校協働活動推進委員会・担当者会議

- ◆「地域学校協働活動」の円滑な運営を図るため、県教育委員会に「地域学校協働活動推進委員会」を設置し、年2回開催。
- ◆本委員会の下、教育事務所単位の「地域学校協働活動担当者会議」を設置し、市町村との連絡調整や意見交流を年2回実施。

セミナー・研修会

- ◆地域学校協働活動の理解促進及び地域学校協働活動の中核を担う人材の育成。
- ◆対象は、コーディネーターや学校運営協議会委員等の地域関係者、小・中・高・特別支援学校教職員、市町村担当者 等。

研究委嘱・実践発表会

- ◆幅広い地域住民の参画を得た学校・地域双方にとって効果的な活動となるよう、PDCAサイクルに基づき、2年間の研究委嘱。
- ◆各教育事務所で開催する地域学校協働活動実践発表会で、研究実践の共有を図る。

優良事例の周知

- ◆「地域学校協働活動実践事例集」を県ホームページに掲載。
- ◆地域学校協働活動情報通信(COLLABO)を発行し、年間を通して定期的に優良事例などを周知。

4 事業効果

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組による子供たちの学びや体験が充実。
- 学校・家庭・地域が連携・協働して、子供を取り巻く課題を解決。

5 指標

- 「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合
目標値54.0%（令和8年度）【埼玉県5か年計画】
目標値58.0%（令和10年度）【第4期埼玉県教育振興基本計画】

地域学校協働活動推進委員会設置要綱(一部抜粋)

(設置)

第1条 「地域学校協働活動」の円滑な運営を図るため、県教育委員会に「地域学校協働活動推進委員会」（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- 一 「地域学校協働活動」等の運営方法に関すること。
- 二 学校と家庭・地域社会との連携・協働の在り方に関すること。

(組織)

第3条 推進委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- 一 保護者・地域住民の代表者
- 二 民間団体等の代表者
- 三 学識経験者
- 四 市町村教育委員会の代表者
- 五 小・中学校長の代表者
- 六 関係行政機関の職員
- 七 教育局関係課所の職員

2 前項第一号から第五号までに掲げる代表者は、別表1に掲げる者とし、埼玉県教育委員会教育長(以下「県教育長」という。)が委嘱する。

3 第1項第六号及び第七号の職員は、別表2に掲げる者とする。

別表1（第3条関係）

所属等
さいたま市教育委員会代表
公立小学校校長会代表
中学校長会代表
PTA連合会代表
商工会連合会代表
学童保育連絡協議会代表
図書館協会代表
コーディネーター代表
学識経験者
研究委嘱市町村教育委員会代表(南部)
研究委嘱市町村教育委員会代表(西部)
研究委嘱市町村教育委員会代表(北部)
研究委嘱市町村教育委員会代表(東部)

別表2（第3条関係）

所属等
共助社会づくり課代表
スポーツ振興課代表
こども支援課代表
教育総務部副部長
県立学校人事課代表
高校教育指導課代表
特別支援教育課代表
保健体育課代表
小中学校人事課代表
義務教育指導課代表
文化財・博物館課代表
教育事務所代表
生涯学習推進課代表

別表3（第9条関係）

所属等
生涯学習推進課担当職員
南部教育事務所担当職員
西部教育事務所担当職員
北部教育事務所担当職員
北部教育事務所秩父支所担当職員
東部教育事務所担当職員

研究委嘱・実践発表会

○令和6・7年度地域学校協働活動の推進に関する研究委嘱

【テーマ】

地域で子供を育てる意識の向上に向けた

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組」の推進

地区	研究委嘱 市町村	研究指定校	個別のテーマ	実践発表会 開催予定日等
南部	川口市	川口市立 前川東小学校	子供たちの成長を支える地域学校協働ネットワークの 充実 ～学校運営協議会のつながりを生かした放課後子供 教室の実現～	令和7年 11月19日(水)
西部	日高市	—	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推 進 ～「学校を核とした地域づくり」を進めるための学校 運営協議会と地域学校協働本部の役割～	令和7年 11月28日(金)
北部	深谷市	深谷市立 深谷小学校	コミュニティ・スクールと放課後子ども教室の一体的 な推進 ～深谷小学校平日放課後子ども教室への幅広い地域 住民の参画を目指して～	令和7年 11月27日(木)
東部	春日部市	春日部市立 江戸川小中学校	学校運営協議会を原動力とした地域学校協働活動の 推進と充実 ～未来の地域につながる学校づくりネットワークの構 築～	令和7年 11月26日(水) ※集合開催

セミナー・研修会

令和7年度
地域学校協働活動
推進セミナー



「学社共創」

～学校と地域の更なる連携に向けて～

第1回

7月30日(水)
14:00～16:00
オンライン開催
(Microsoft Teams使用)

後日
配信予定

▶対象者

- ✓ 地域学校協働活動推進員
(各事業コーディネーター)
- ✓ 小・中・高・特支の教職員
- ✓ 学校運営協議会委員
- ✓ 市町村担当者
- ✓ 地域と学校の活動に関わる全ての方

	第1回	第2回
制度を知りたい	◎	○
事例を知りたい	◎	○
熟慮をしてみたい	△	◎

▶申込〆切

7月18日(金)

▶申込方法

二次元コード又はURLから
お申込みください。
<https://forms.office.c>
[om/r/9uAf4JxDU0?ori](https://forms.office.c)
[gin=lprLink](https://forms.office.c)



! 注意!

第1回の後日配信を視聴希望の場合、
第1回、第2回の参加有無に関わらず、
事前申し込みが必要です!

MEMO「学社共創」とは
学校教育(学校)と社会教育(地域)
が課題や目標を共有し、互いにベクトル
を合わせて取組を進める、これまでの連
携をさらに発展させた状態

問い合わせ▷埼玉県教育局教育総務部 生涯学習推進課 地域連携担当
▷TEL: 048-830-6979 ▷Email: a6975-05@pref. saitama.lg.jp



埼玉県 放課後子供教室研修会2025

▶放課後子供教室の活動内容の充実、放課後児童クラブとの連携を推進するための、
放課後子供教室及び放課後児童クラブの関係者を対象に2種類の研修を開催します。

放課後コーディネーター 研修会

9月5日(金)

定員 60名
13:30～16:30
集合開催
(県民健康センター)

▶対象者

放課後コーディネーター
放課後子供教室スタッフ
放課後児童クラブ支援員
市町村担当者 等



放課後子供教室活動見学会 in 久喜

10月23日(木)

定員 40名
13:00～16:30
集合開催
(久喜市立久喜小学校)

▶対象者

放課後コーディネーター
放課後子供教室スタッフ
市町村担当者 等



問い合わせ▷埼玉県教育局教育総務部 生涯学習推進課 地域連携担当
▷TEL: 048-830-6979 ▷Email: a6975-05@pref. saitama.lg.jp

優良事例の周知

(1)「地域学校協働活動」実践事例集

- ・埼玉県ホームページ
「放課後子供教室」「学校応援団」実践事例集

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/ibasyo/jigyohoukokuso.html>

(2)地域学校協働活動情報通信「COLLABO」

- ・埼玉県ホームページ
地域学校協働活動情報通信「COLLABO」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/tuusin.html>



学校利用案内



げんきプラザ ロゴマーク

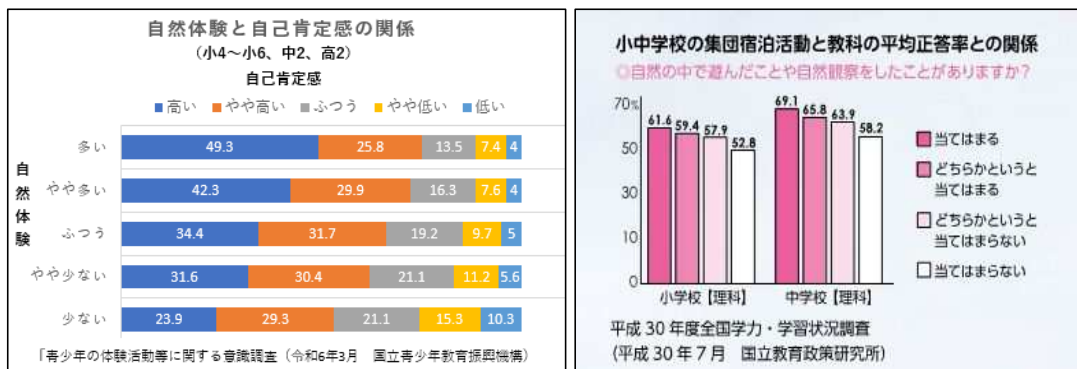
げんきプラザで 体験と学びの充実を

子供たちの体験活動の機会は近年、減少傾向にあり、学校における体験活動の時間数も減少しています。

学習指導要領では、自然や文化に触れる体験を通して学校における学習活動を充実させることや、校外における集団活動を通して人間関係を深めることなど、体験活動が重視されています。また、各教科等で育成をめざす資質・能力を明確にし、それを育む上で効果的な学習内容や活動を、教科等横断的な視点で組み立てるといった「カリキュラム・マネジメント」が重要であるとしています。

集団宿泊活動の意義としては、

- ①自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基礎となる「自己肯定感」を高める。
- ②集団宿泊活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的な学び」ができる学級づくりにつながる。
- ③実感を伴った理解は「深い学び」にもつながる。といったことが調査結果から言えます。



【教科等に関連付けた活動プログラム例】

- 社会…私たちの生活と森林（登山、オリエンテーリング）
- 理科…月と星、流れる水のはたらき（天体観測、自然観察）
- 図工…絵や立体、工作、鑑賞（クラフト活動）
- 家庭…栄養を考えた食事、中学生に必要な栄養（野外炊事）
- 体育…けがの防止、心身の機能の発達と心の健康（登山、オリエンテーリング等）
- 道徳…生命の尊さ、自然愛護
- 総合…各校で定める環境問題、防災教育、SDGs 等

集団宿泊活動は、「特別活動」における「学校行事」の中の「遠足・集団宿泊的行事」（小学校）に位置付けられますが、いろいろな活動の一部について、その教育活動の位置付けを見直し、学校での事前事後指導を適切に位置付けることなどにより、理科や体育、道徳科等の教科、総合的な学習の時間等との関連を図ることによって、教育効果を一層高めることができます。

○各げんきプラザは、宿泊利用の他、日帰り利用や出前講座なども行っております。
活動プログラムのご相談等、お気軽にお問い合わせください。

施設の概要	主な活動プログラム
【加須げんきプラザ】 交通アクセスがよく、4つの研修室、音楽室、和室研修室、美術工芸室、バスケットコート2面の体育館、テニスコート4面の施設があります。体験活動をはじめ、学習、文化活動、スポーツ等の幅広い活動ができます。 《職員からメッセージ》 花崎駅から徒歩6分で便利です。宿泊は特別支援学校・学級の御利用が多いです。近隣施設での活動も取り入れやすく、充実した宿泊体験ができます！	・人間関係づくりプログラム ・手打ちうどんづくり体験 ・ピザづくり体験 ・野外炊事体験 ・スマホ講座（小学生～一般対象）  ピザづくり体験
【大滝げんきプラザ】 400人宿泊可能な教育施設で、大型研修室、体育館、400mm 望遠鏡等があります。学校向けプログラムとして、林業体験、伝統食作り、工作体験、天体観測、屋外炊事、キャンプファイア、自然体験ハイキング等があり、豊かな体験活動ができます。 《職員からメッセージ》 標高900mに位置する”天空のプラザ”美しい自然の中で 豊かな体験を！仲間と寝食を共にし、体験活動を通して絆を深め、豊かな心を育むことができます。	出 前 講 座 ・星の観察会（12～2月） ・火起こし体験 ・焼き板体験 ・木工体験  星の観察会
【長瀬げんきプラザ】 体育館・研修室（60人・80人）・音楽室・工芸室・炊事場などの活動施設があります。蠟石を使った勾玉・はんこ作り、バードコール作りなどの木工クラフト、長瀬の自然を活用してライン下りやラフティング、ハイキングなどの体験ができます。 《職員からメッセージ》 クラフトやワークショップなど、様々なニーズにお答えいたします。学校への出前講座も積極的に承りますので、SDGs や地域防災・環境学習などどんなことでもぜひご相談ください。	・はんこづくり体験（小・中学生対象） ・バードコールづくり体験（全年齢対象） ・ティピーランタンづくり体験（全年齢対象） ・防災教育のワークショップ（全年齢対象） ・チームビルディング活動（全年齢対象） ・SDGs のワークショップ（全年齢対象） ・山川海についての学習（全年齢対象）  SDGs のワークショップ

施設の概要	主な活動プログラム
【小川げんきプラザ】 宿泊施設は、研修施設のある本館と野外活動に適したバンガローが選べます。プラネタリウムを活用した天体の学習や自然体験活動としてハイキング・クラフト製作などができます。また、冷暖房完備の活動センターは様々な活動に対応可能です。 《職員からメッセージ》 洋室（二段ベッド）と和室のある本館、または山小屋風のバンガローが選べます。昨年度本館の空調やトイレがリニューアル、今年度は和室の敷布団を新調しました。	・クラフトづくり体験（未就学児・小学生対象） ・星空観察（幼稚園児以上対象） ・草木染め体験（小学生以上対象）  星空観察
【神川げんきプラザ】 アドベンチャー教育プログラムを通じて、児童生徒が協力して行う集団行動、個人目標へのチャレンジ、目標の共有化、課題達成機能、コミュニケーションの在り方を学ぶことができます。 《職員からメッセージ》 アドベンチャー教育と一緒にアクティブラーニングを体験しましょう。 児童生徒を見つめ直しながら、クラスや部活動運営のヒントを掴みましょう。	出 前 講 座 ・クラフト体験 ・アドベンチャーポイントラリー（小学生対象） ・アドベンチャー教育プログラム（中学生以上対象） ※何れも9月以降の対応となります。  アドベンチャー活動
【名栗げんきプラザ】 20人が一度に宿泊できる畳の大部屋や自然を身近に感じることができるテント・バンガローがあります。50種類以上のアクティビティ（体験活動）や職員の直接解説によるプラネタリウムでの学習投影等、豊かな自然の中で宿泊学習ができます。 《職員からメッセージ》 年間160校以上の学校団体が利用しており、幼稚園から高校生まで幅広く御利用頂けます。子供たちに、より質の高い体験を提供しています。	・各種クラフト体験（幼稚園児以上対象） ・火おこし体験（小学生以上対象） ・星空観望・太陽観察（幼稚園児以上対象） ・各種野外炊事（小学生対象） ・仲間づくり活動（幼稚園児以上対象） ・理科単元としての出張授業（4,6年向け）  星空観望

詳しくは、

埼玉県立げんきプラザ総合ページ

<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/genki-plaza/>



げんきプラザ を活用してみませんか？

～令和4年度・令和5年度・令和6年度 3年間の取組～
「小・中・特別支援学校における教科と関連付けた体験活動」



活動の充実



埼玉県体験活動推進協議会3年間の取組について

埼玉県では、学校における体験活動の推進を目指し、学識経験者や体験活動に関する専門家及び学校教育関係者を構成員とした、埼玉県体験活動推進協議会を令和4年に設置し、げんきプラザの体験活動を教科に関連付けたプログラムの開発を行ってきました。

これまで小学校版プログラム(令和4年度)、中学校版プログラム(令和5年度)を開発し、県内の学校へ周知を図ってきました。今年度(令和6年度)は、特別支援学校版プログラムを開発しました。これまで3年間の取組を本リーフレットにまとめました。

体験活動の現状と学習指導要領での位置づけ

体験活動については、様々な調査結果から次の有用性が明らかになっています。

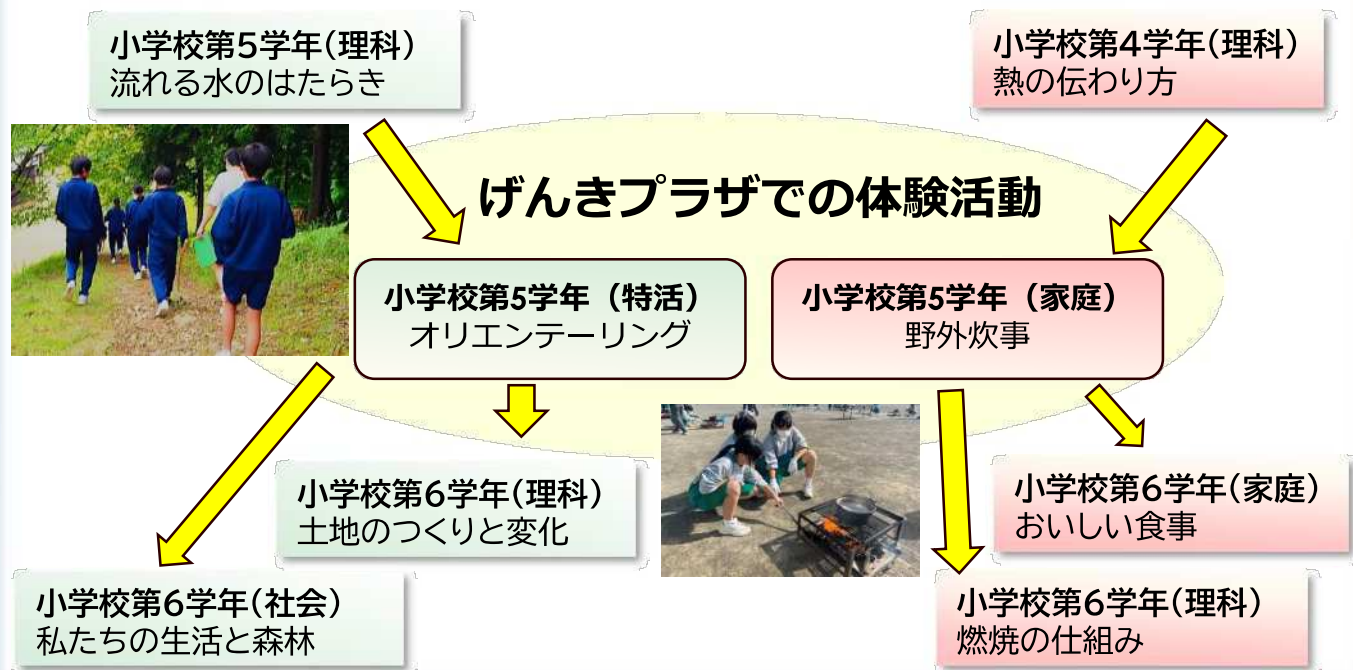
- ①自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基礎となる「自己肯定感」を高める。
- ②集団での活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的な学び」ができる学級づくりにつながる。
- ③実感を伴った理解は「深い学び」につながる。

また、学習指導要領では、自然や文化に触れる体験を通して学校における学習活動を充実させることや、校外における集団活動を通して人間関係を深めることなど、体験活動が重視されています。

体験活動の有用性とカリキュラムマネジメント

豊かな自然環境を有するげんきプラザで、学校での学習を生かし、体験活動と結びつけることで、実践的で探究的な学習活動になり、よりよい暮らしや持続可能な社会を創造する態度の育成につながります。ここで紹介するプログラムは、学校での事前学習からげんきプラザでの体験活動までを一連の流れとしてまとめたもので、「主体的・対話的で深い学び」につなげた授業展開の例として、各教科等で身に付ける「資質・能力」をさらに高めることにもつながります。

「主体的・対話的で深い学び」につながる体験活動と授業の実現のためには、「カリキュラム・マネジメント」が不可欠です。具体的には、各教科等で育成をめざす資質・能力を明確にし、それを育む上で効果的な学習内容や活動を、教科等横断的な視点と体験活動で組み立てることが重要です。



教科に関連付けたプログラム例

集団宿泊活動は、「特別活動」における「学校行事」の中の「遠足・集団宿泊的行事」(小学校)に位置付けられますが、いろいろな活動の一部について、その教育活動の位置付けを見直し、学校での事前事後指導を適切に位置付けることなどにより、理科や体育等の教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間等との関連を図ることによって、教育効果を一層高めることができます。下記、プログラム例を参考にしてください。

【プログラム例】

- 社会…私たちの生活と森林(登山、オリエンテーリング)
- 理科…月と星、流れる水のはたらき(天体観測、自然観察)
- 図工・美術…絵や立体、工作、鑑賞(クラフト活動)
- 家庭…栄養を考えた食事、中学生に必要な栄養(野外炊事)
- 体育・保健体育…けがの防止、心身の機能の発達と心の健康(登山、オリエンテーリング等)
- 道徳…生命の尊さ、自然愛護
- 総合…各校で定める環境問題、防災教育、SDGs 等



集団宿泊活動を年間指導計画に適切に位置付けるためのステップ



特別支援学校の集団宿泊活動にあたっての留意事項

特別支援学校で、げんきプラザを活用した集団宿泊活動を実施するにあたっては、下記に留意して実施すると、より高い学習効果を得られることが考えられます。各プラザには事業専門の職員がいますので、是非ご相談ください。

- ①各げんきプラザで実施可能な体験活動プログラムを把握する。
- ②児童生徒の実態・特性を鑑み、学校の学習活動とげんきプラザの体験活動を連動させ、主体的に活動できる体験活動を選択する。
- ③体験活動を通して、意図的に児童・生徒同士が対話できる展開を設定する。
- ④児童・生徒が場面に応じて考えをもち、集団としての考えを形成できるような場面を設定する。
- ⑤HPに公開されている資料や動画を活用し、事前学習を充実させる。
- ⑥体験活動後に、感じたことや気づいたことを振り返る場や学んだことを生かす場を設定する。

試行事業の紹介 ～大滝げんきプラザ～

令和4年度、5年度の試行事業の詳細は、以下のURLまたは右の二次元コードからご覧ください。



大滝げんきプラザ
<https://genki.spec.ed.jp/ootaki/taikatsususuikyoku>

令和4年度試行事業 秩父市立西小学校 第5学年

【単元名】「SDGsについて考えよう」

【目 標】 体験活動と関連させながら、森林資源が果たす役割や環境保全について、また、SDGsについて理解を深めることができる。

施設での体験学習【9時間】 課題の追求、解決

○総合的な学習の時間

- ・薪作り体験
- ・屋外炊事でのカレーライス作り
- ・焼き板体験

○特別活動（学級活動）

- ・キャンプファイアで仲間づくり



令和5年度試行事業 横瀬町立横瀬中学校 第2学年

【単元名】「木材の加工について学ぼう」

【目 標】 材料加工を行うための基礎的な理解を図るとともに、薪づくり体験、間伐体験を通して学習課題を見出し、よりよい暮らしの実現や持続可能な社会について考え、材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けることができるようにする。

施設での体験学習【5時間】 課題の情報収集、追求、解決

○技術

- ・薪づくりを通して、木材の特性や性質について理解する。
- ・間伐体験で木材加工の過程や林業について理解する。
- ・フィールドワークで良質な建築材となる条件を考える。



何を学ぶか

「林業体験と炊事体験をしよう」

生活に役立てるために、林業体験から屋外炊事への一連の加工・調理する体験や仲間と協力する体験を通して積極的に課題を見出し、主体的・実践的な態度を身につけることができる。

どのように学ぶか

学校での事前学習【1時間】

課題の把握、設定、動機づけ 【生活単元学習】

- ・大滝げんきプラザでの活動を知る。
- ・大滝げんきプラザにある木の特徴を知る。
- ・木に触れる体験を通して、木材の関心を高めさせる。

体験学習【4時間】

課題の情報収集、追求、解決 【生活単元学習】

- ・木の皮を剥いだ丸太を確認する。
- ・薪割りとカレー作りの体験を通して、木材や調理について理解する。
- ・活動中に投げかけた課題を仲間と対話しながら木材加工や調理を進める。

学校での事後学習【4時間】

整理、分析、まとめ、表現 【生活単元学習】

- ・体験活動を通して学習したことをまとめる。
- ・自分がうまくできたところや、できなかったところに気づく。
- ・薪作り・調理で培った仲間との協力について、生活で活かせる場面を考える。

何ができるようになるか

【育成する資質・能力】

【知識及び技能】

- ・仲間と協力し、作業に取り組むことの大切さを理解できる。
- ・林業体験や炊事体験への一連の活動を通して、生活に活用できる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・学習活動の課題発見、問題解決、振り返りを行い、自ら改善・修正について考えることができる。
- ・利用目的に合わせた薪作りや調理ができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・薪作りから屋外炊事の一連の体験活動を通じて、生活に活かす技術を主体的に身につけようとする態度を養う。



「木材加工」の様子



「野外炊事」の様子

先生からの声・生徒の声

生活単元学習に関連付けた体験活動は、見通しをもって粘り強く取り組む生徒の姿が多く見られました。げんきプラザを活用して学習する価値を感じました。

(先生)

宿泊学習後は、役割分担をしたり友達に声をかけ一緒に準備をしたりするなど、学校生活の中でクラスの友達同士の関わりが、以前よりも増えました。(先生)

木の性質を学習する出前授業が当日の体験学習に繋がり、大変有意義でした。生徒同士が対話を交えながら協力して活動する場面が多く見られました。(先生)

薪割りやカレー作りを通して、仲間と協力する大切さやチャレンジする気持ちをもちました。とても楽しく学びのある2日間でした。

(生徒)

友達と話し合っ活動する良さを感じました。学校の中でも宿泊学習で体験したことを活かしていきたいです。(生徒)

薪割り体験では、班の友達と切り方や割り方について、一緒に話し合いながら考えました。協力して楽しい活動ができました。(生徒)

試行事業の紹介 ～加須げんきプラザ～

令和4年度、5年度の試行事業の詳細は、以下のURLまたは右の二次元コードからご覧ください。



加須げんきプラザ

<https://genki.spec.ed.jp/kazo/taisuiyou kazo>

令和4年度試行事業 熊谷市立三尻小学校 第4学年(出前事業)

【单元名】「よりよい人間関係をつくろう」

【目 標】 人間関係づくりプログラムを中心とする様々な体験活動(アクティビティ)を通じて、児童が互いに協力しながら問題解決を図り、「よりよい人間関係」を形成することができる。

出前事業での体験活動【4時間】

○特別活動(学級活動)

- ・ビーイング(事前): 個人やグループでの目標設定とその実現に向けた計画作成
- ・アクティビティ : 人間関係づくりプログラムの実践、よりよい人間関係形成のための資質を習得
- ・ビーイング(事後): 振り返り、目標に対する達成度の把握



令和5年度試行事業 行田市立忍中学校 第1学年(出前事業)

【单元名】「体験活動を通じて、よりよい人間関係を築こう」

【目 標】 様々な体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「よりよい人間関係」を形成しようとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、主体的に課題解決を図ることができる。

出前事業での体験活動【6時間】

○総合4時間、理科2時間

- ・ビーイング: グループ目標の設定、個人やグループによる達成度の振り返り
- ・野外炊事体験: 災害時にも応用できる野外炊飯の実施と試食
- ・人間関係づくりプログラム: アクティビティの実践、よりよい人間関係形成のための資質を習得



何を学ぶか

「体験活動を通して、仲間の大切さを知ろう」

体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「仲間の大切さ」を知ろうとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、一人一人の生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、様々な役割を担い、集団全体で取り組むことができる。

どのように学ぶか

学校での事前学習【6時間】

学習活動の把握、知識・技能の習得

【生活単元学習】

- ・加須げんきプラザでの活動を知る。
- ・人間関係づくりプログラムについて知る。

体験学習【12時間】

学習したことの実践

【自立活動】人間関係づくりプログラム

- ・仲間と活動することの良さを再確認する。
- ・リーダー、フォロワーの役割について考える。
- ・対話による課題解決をする。

学校での事後学習【4時間】

実践の振り返り、知識技能の深化

【国語】

- ・体験活動の様子を写真等で振り返り、活動をおして学んだことを確認する。

何ができるようになるか

【育成する資質・能力】

- 知識及び技能
・仲間の大切さを知るために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。
- 思考力・判断力・表現力等
・集団内で協議して合意形成を図り、より良い方向性を見出して課題解決を図ることができる。
- 学びに向かう力、人間性等
・他者の考えや意見を肯定的に捉え、尊重することで、仲間の大切さを知ることができる。



人間関係づくりプログラム
「バゲットボール」の様子



「手打ちうどんづくり体験」
の様子

先生からの声・生徒の様子

食材を切るための用具の工夫や、屋外かまどづくりなど、教師と職員が連絡を取り合い準備することができた。火を使う経験は子供たちにとって新鮮だったようで、恐る恐る薪をくべたり、火にかかった鍋にお米を入れる体験は貴重だった。
(先生)

生徒同士の関わりを深められる良い機会になった。普段の学校生活とは違う環境の中でも、互いに協力し合い、一つの目標に向かって行動できることは、今後の社会生活における生きる力になると感じた。
(先生)

人間関係づくりプログラムでは、生徒の実態に合った内容の活動ができた。バゲットボールという活動では、大きいボールから小さいボールへと段階が踏まれていたので取り組みやすかった。
(先生)

友達と協力し達成感や楽しいという気持ちを共有することができ、良い思い出となったようです。
(担当教師による生徒の見とり)

手打ちうどん体験では、生徒がイメージを持ちながら活動に主体的に参加できていたようです。作業や自分がやるべきことを想像し、落ち着いて活動できていたようです。
(担当教師による生徒の見とり)

友達と協力して活動する場面では、自分から声をかけたり、手を繋ごうとしたりすることができました。集団での活動に積極的に参加できるようになりました。
(担当教師による生徒の見とり)

げんきプラザ総合ページについて

げんきプラザではここで紹介したもの以外にも様々なプログラムを提供しています。詳細は下記URL又は二次元コードを御参照ください。



【埼玉県立げんきプラザ総合ページ】

<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/genki-plaza/>

埼玉県体験活動推進協議会について

埼玉県教育委員会では、令和4年度から体験活動推進協議会を設置し、げんきプラザを利用した体験活動が、児童生徒の健全育成につながる効果的な体験活動の在り方や、各教科等へ関連付けたプログラムの開発について検討を行ってまいりました。本リーフレットは、3年間の取組をまとめたものになります。

各学校の実態に合わせて、げんきプラザの多様な資源を生かした体験学習が実施されることにより、「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」が実現されることを願っております。

プログラム開発にあたりご協力いただきました協力校の皆様、また、体験活動推進協議会の各委員に厚くお礼申し上げます。

県教育局教育総務部生涯学習推進課 課長 佐藤 直樹

埼玉県体験活動推進協議会各委員から（五十音順）

げんきプラザで体験する様々な活動や生活は、生きる力を身につける貴重な機会になります。障害のある児童・生徒にとってできることは限られていても、初めてのことに挑戦してみることは大きな喜びとなり、自分で「できた」「分かった」という実感はその後の自信にもつながります。げんきプラザでは、すべての子供に豊かな体験の場や機会を提供できるよう環境を整備し、体験活動のUD化や個別支援に取り組んでいます。ぜひご活用ください。

國學院大学人間開発学部 教授
青木 康太朗 氏

子供たちの学びは、実感を伴った様々な体験を通して、生きて働く知識や力になります。子供たちの豊かな人間性や社会性を育み、健やかな成長を後押しする質の高い体験プログラムが「げんきプラザ」にはあります。未来の創り手である子供たちの深い学びの実現に向け、様々な機会に「げんきプラザ」を活用いただくことを期待しています。

県立三郷特別支援学校
教頭 阿相 道子 氏

今回のモデルプランは、特別支援学校に通う子供たちが、げんきプラザの提供する様々なプログラムを通して、豊かで深い学びを体験できる参考例です。学校のニーズや子供たちの実態に合わせ、より効果的な体験活動となるよう、柔軟に対応できます。学校での日々の学習とげんきプラザでの体験が相乗効果をもたらし、子供たちは驚くほど成長します。子供たちの笑顔のために、げんきプラザをご活用ください。

県立加須げんきプラザ 所長
上松 寿明 氏

体験活動は、様々な関わりの中で、感動・驚き等を経験し、考えを深め、実生活や社会、自然の在り方を学ぶ良い機会になります。そこで得た知識や考え方は、様々な課題に取り組み、自らを高め、よりよい生活を創り出す糧となります。良い実践ですので、このリーフレットを活用していただくと同時に、げんきプラザでの体験活動を経験させてあげてください。

県立大滝げんきプラザ 所長
江森 貴文 氏

自ら考え・行動し・学び・成長する体験活動は、子供たちにとってかけがえのない時間です。げんきプラザでは、安心・安全な環境の中、学校のニーズや子供たちの状況に合わせた質の高いプログラムが充実しています。ぜひ、「できた！楽しい！」が溢れる豊かな体験活動を、げんきプラザで実現してみませんか。

県教育局市町村支援部義務教育指導課
教育指導幹 齋藤 直美 氏

体験活動では、学校のニーズ、児童生徒の実態に応じた活動について検討、改善を繰り返し、誰もが楽しく活動するための素晴らしい工夫が活動や施設の中に入ったプログラムになりました。児童生徒が安心感の中、生き生きと活動する姿が成果と言えます。この体験活動が学習へ広がり、深まり、新たな学習へつながるものになると考えます。

県教育局県立学校部特別支援教育課
指導主事 平田 真澄 氏

げんきプラザ利用案内



げんきプラザは集団宿泊、自然体験活動等を通じて、青少年の健全な育成を図るとともに、県民の生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設として、県内6所で様々なプログラムを提供しています。



施設名	所在地・相談窓口	施設概要	学校向けの主なプログラム
加須げんきプラザ	〒347-0032 加須市花崎456 0480-65-0660	【宿泊人数】 ・100名(宿泊室100) 【主な保有施設】 ・体育館、テニスコート	・人間関係づくりプログラム ・ピザづくり体験 ・手打ちうどんづくり体験 ・野外炊事体験
大滝げんきプラザ	〒369-1901 秩父市大滝5944-2 0494-55-0014	【宿泊人数】 ・418名(宿泊室400、テント18) 【主な保有施設】 ・体育館、天文台	・うどん・まんじゅう作り体験 ・天体観測 ・林業体験 ・焼き板体験
長瀬げんきプラザ	〒369-1312 秩父郡長瀬町井戸367 0494-66-0177	【宿泊人数】 ・140名(宿泊室100、テント40) 【主な保有施設】 ・体育館	・環境学習 ・防災学習 ・ハイキング ・クラフト体験
小川げんきプラザ	〒355-0337 比企郡小川町木呂子561 0493-72-2220	【宿泊人数】 ・265名(宿泊室150、テント15、バンガロー100) 【主な保有施設】 ・活動センター、プラネタリウム、天体観測室	・プラネタリウム ・星空観察 ・クリエイティブウォーク ・クラフト体験
神川げんきプラザ	〒367-0234 児玉郡神川町池田756 0495-77-3442	【宿泊人数】 ・136名(宿泊室100、テント36) 【主な保有施設】 ・体育館、グラウンド、アドベンチャー教育	・アドベンチャー教育プログラム ・アドベンチャーポイントラリー ・火おこし体験 ・クラフト体験
名栗げんきプラザ	〒357-0111 飯能市上名栗1289-2 042-979-1011	【宿泊人数】 ・396名(宿泊室200、テント120、バンガロー76) 【主な保有施設】 ・プラネタリウム	・プラネタリウム ・出前授業(4年・6年向け太陽・月) ・グループチャレンジ ・クラフト体験



県民の情報拠点・県立図書館について

県立図書館サービスの概要

県立図書館は、熊谷図書館と久喜図書館が一体となり、県民の多様な要求にこたえ、課題への取組や自発的・主体的な活動を支援し、生涯にわたる学びを推進します。

専門的な図書等を駆使したレファレンス

- レファレンス（調査・相談業務）は質・量ともに全国トップレベル
- 市町村立図書館等では解決の難しいレファレンスをサポート

市町村立図書館等への支援

- 市町村立図書館等を巡回する「協力車」により、県域の相互貸借資料等を搬送
- 県内の司書の人材育成・運営相談にも対応

専門図書館的な機能による課題解決支援

- 地域・行政資料サービス（埼玉県に関する資料の網羅的収集・提供）
- ビジネス支援サービス（経営・起業・就労等）
- 健康・医療情報サービス（がん・認知症等）
- 障害者サービス（障害があっても利用しやすい資料の製作・提供）
- 多文化サービス（外国語資料の提供等の多文化サービス）
- 子ども読書支援センター（読み聞かせボランティアの育成や学校図書館支援等）



社会科学、歴史、哲学分野

熊谷図書館



自然科学、芸術、文学分野

久喜図書館

浦和分室
（サービス窓口のみ）

ビジネス支援室 （熊谷図書館）

ビジネス関係図書、雑誌、パンフレットの他、各種データベース閲覧用端末を設置し、県民の就業・起業や、県内企業の経営改善等、仕事に関する課題解決をします。

健康・医療情報コーナー （久喜図書館）

健康・医療関係図書、雑誌のほか、各種パンフレットを揃え、「がん」「認知症」「妊活・出産・育児」などのコーナーを特設しています。健康に関する講座等も実施しています。

埼玉県芸術文化祭 2025 について

埼玉県芸術文化祭は、平成元年度に開催された「第4回国民文化祭さいたま89」の成果を継承し、地域に根ざす埼玉文化の創造を目指して、平成2年度から開催しています。

埼玉県芸術文化祭では、誰でも簡単に楽しみ、参加できる文化芸術イベントや文化芸術体験事業を県内各地で実施しております。本リーフレットでは埼玉県芸術文化祭2025を構成する4つの事業を紹介しています。興味のある催しやお近くで開催されているイベントがありましたら、ぜひWebサイトへアクセスしてください。

Web サイト：<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/geibunsai/index.html>



1 埼玉県美術展覧会 ～県内最大規模の自治体主催公募美術展～

例年、5月から6月にかけて、埼玉県立近代美術館において開催される公募美術展で、通称「県展」と呼ばれています。日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の作品を公募し、入選作品と県内作家からの招待作品等が展示されます。今年度は、約1,800点の作品が会場を彩り、2万人以上の方にご来館いただきました。

第74回展の開催要項は令和8年1月下旬～2月上旬頃に発表する予定です。

Web サイト：<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/geibunsai/kenten.html>



令和7年度実績 会期：令和7年5月28日～6月19日 出品者数：2,630人 観覧者数：21,260人



2 芸術文化ふれあい事業 ～本物の芸術文化を気軽に体験・鑑賞してみませんか～

「芸術文化ふれあい事業バンク」に登録する芸術文化団体が、学校や公民館などに出向いて公演や実技指導等を実施する「体験型」事業及び県有施設や商業施設などで実演披露する「鑑賞型」事業を展開し、児童生徒等に芸術文化の楽しさを実感してもらい、そして学校や地域と文化団体の交流を図る事業です。学校以外にも幼稚園、保育園、学童クラブ、放課後子供教室、障害者福祉施設、高齢者福祉施設など、ますます活用のフィールドが広がっている事業です。

Web サイト：<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/geibunsai/fureai.html>



令和6年度実績 実施件数：51件 参加者人数：4,836人



3 協賛事業 ～あなたも埼玉県芸術文化祭に参加しませんか？県民みんなのおまつりを一緒に盛り上げよう～

協賛事業とは、4月～翌年3月に県内の文化団体、市町村、学校等が行う文化祭、演奏会、展覧会などのうち、埼玉県芸術文化祭の趣旨に沿ったものとして承認した事業です。

令和6年度は、展覧会や各種コンクールなど111件の協賛事業が開催されました。令和7年度の協賛事業は、県内全域で多彩な文化や芸術イベントが予定されています。

県ホームページで最新情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

Web サイト：<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/geibunsai/kyousan.html>



令和6年度実績 協賛事業数：111件 参加者数：354,360人

4 地域文化事業

埼玉県芸術文化祭では、8月から翌年2月までの期間に、20の市町と35の文化芸術団体が主体となり、伝統芸能、音楽コンサート、美術展覧会など59のイベントを「地域文化事業」として県内各地で開催しています。

イベントの内容や問い合わせ先は、下記のホームページをご覧ください。（事業開始1か月前までに情報を掲載します）



埼玉県イベントカレンダー： https://www.pref.saitama.lg.jp/cgi-bin/event_cal/cal_month.cgi



イベント名	期間	場所
第30回埼玉県書道芸術展	7/31～8/3	さいたま市
令和7年度吉川市演劇プロジェクト	8/23、24	吉川市
第56回交通安全祈願蘭生書道展	8/30、31	さいたま市
第63回公募新構造埼玉展	9/2～7	さいたま市
べに花の郷 おけがわ市民芸術文化祭2025	9/2～12/27	桶川市
第78回秩父交友会展	9/11～15	秩父市
第68回埼玉書道展	9/12～14	さいたま市
第35回こしがや薪能	9/13	越谷市
八潮オリジナル市民ミュージカル 第17回本公演	9/15	八潮市
第32回埼玉県百人一首大会	9/21	戸田市
第13回彩の国埼玉ジュニア杯の祭典	9/21	深谷市
熊谷短歌会第35回熊谷市民短歌 大会と作品(色紙・短冊)展	9/23～28	熊谷市
第53回文化書道埼玉県連合会展	9/26～28	さいたま市
第25回ちちぶ民謡・民舞の祭典	9/27	秩父市
第23回先駆ける美術展	9/30～10/5	春日部市
第57回第一美術協会埼玉支部展	9/30～10/5	さいたま市
第72回川越市美術展覧会	10/1～12	川越市
埼玉県子ども動物自然公園 アートフェスタ2025	10/1～12/28	東松山市
第35回さきたま連句大会	10/4	川口市
第64回朝霞市文化祭	10/5～11/23	朝霞市
第34回全国平成水墨画展	10/10～13	さいたま市
第41回邦楽(箏・三絃・尺八)のつどい	10/12	川越市
アミーゴ秋まつりvol.18 本とクラフトのマルシェ	10/12、13	入間市
第22回こしがや能楽の会	10/18	越谷市
ときがわ町制施行20周年記念事業 第33回ときがわもみじ太鼓まつり	10/19	ときがわ町
第57回上尾市美術展覧会	10/21～26	上尾市
第34回旺玄会埼玉支部展	10/21～26	さいたま市
第46回太平洋埼玉展	10/21～26	さいたま市
加須市各地域文化祭	10/24～11/3	加須市
令和7年度市民文化祭	10/24～11/16	鴻巣市

イベント名	期間	場所
第132回埼玉県歌人会秋季短歌大会	10/25	秩父市
第77回行田市文化祭	10/25～11/23	行田市
第33回埼玉県三曲協会定期演奏会 箏・三絃・尺八の調べ	10/26	さいたま市
津軽三味線コンサート みんようまつり2025	10/26	飯能市
フレサよしみアートフェスタ	10/28～11/9	吉見町
第47回滑川町文化祭	11/1～3	滑川町
令和7年度第41回上尾市文化芸術祭	11/1～3	上尾市
第62回富士見市民文化祭	11/1～16	富士見市
第19回こどもライブフェスタ2025	11/1～30	草加市他
第23回羽生市文化祭	11/8、9	羽生市
「音楽の街・久喜市」 吹奏楽フェスティバル	11/9	久喜市
第35回日高市美術展	11/12～16	日高市
第22回坂戸市芸術文化祭	11/14～16	坂戸市
第9回 幸墨会一門展	11/15、16	羽生市
第53回小鹿野町歌舞伎・郷土芸能祭	11/15、16	小鹿野町
第56回越谷市民文化祭	11/21～24	越谷市
第30回美里町遺跡の森 ピアノコンクール	11/22～24	美里町
熊谷市誕生20周年記念事業 第18回地域伝統芸能今昔物語	11/23	熊谷市
第50回埼玉県西部地区合唱祭	11/24	坂戸市
彩西美術展'25	11/26～30	坂戸市
第22回竹間沢車人形公演	12/7	三芳町
第59回全日本書道芸術展	12/9～14	さいたま市
第17回熊谷ひばりピアノコンクール	12/14	熊谷市
第37回サンシティ市民合唱団 定期演奏会	12/14	越谷市
第60回記念 「郷土を描く児童生徒美術展」	12/20、21	さいたま市
アートフェスタふじみ野2025	1/24、25	ふじみ野市
第29回稲心書道展	2/11～14	所沢市
第24回越谷市美術展覧会	2/13～19	越谷市
第38回舞台芸能発表会	2/15	羽生市